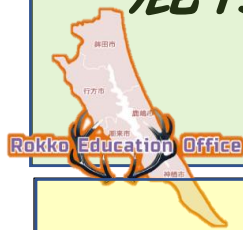


鹿行教育事務所だより 第6号

令和7年9月12日(金)



QRコードから鹿行教育事務所のホームページが見られます

電話 0291-33-6138

E-mail rokkyo@pref.ibaraki.lg.jp



英語プレゼンテーションフォーラム鹿行地区大会

8月5日(火)、<レイクエコー>茨城県鹿行生涯学習センターを会場に令和7年度英語プレゼンテーションフォーラム鹿行地区大会が開催されました。各市等での大会を経て15校が参加し、プレゼンター側とリスナー側に分かれ、5分間のプレゼンテーションの後、4分間英語でのやり取りを行いました。今年度は「茨城の魅力アッププロジェクト～こんな茨城にしたい、住みたい、なってほしい～」というテーマで、参加者は工夫を凝らし茨城の魅力アップにつながる発表ややり取りを楽しんでいました。

鹿行教育事務所長賞を受賞した学校は以下の3校になります。おめでとうございます。

各学校においては、即興でやり取りする力の育成を目指し、日々の授業の中で、本大会のような領域を統合した言語活動の充実に向けた取組をお願いいたします。

【鹿行教育事務所長賞】

- ・鹿嶋市立高松中学校
- ・県立鹿島高等学校附属中学校
- ・行方市立玉造中学校



【やり取りの様子】

科学の甲子園ジュニア茨城県大会

8月22日(金)、各地区の予選を通過した県内代表32チームが集まり、茨城県教育研修センターを会場にして、上記県大会が行われました。鹿行地区からは、神栖市立神栖第二中学校、鉾田市立鉾田北中学校の2チームが地区の代表として参加しました。

実技競技では、規定の製作材料で製作したグライダーを規定の高さから放すことで滑空させ、その飛行距離を競いました。今年度の学校教育指導方針においても、理科の重点として示されている、科学的に探究する力が試されている課題でした。

各チームとも県の代表が集まる中で緊張している様子でしたが、2チームともメンバー同士で真剣に議論しながら、競技に取り組んでいました。

参加した2校は県教育長賞を受賞しました。おめでとうございます。



【グライダーの例】

スクール・サポート・スタッフに係る学校訪問

教員の業務負担軽減を図るとともに、障害者雇用促進の一環として始まったスクール・サポート・スタッフ(SSS)配置事業は、6年目を迎え、本年度は管内に34名(R7.8月末現在)の配置をいたしました。

夏季休業期間中に、31校の配置校を訪問させていただき、本人や管理職との面談を通し、その仕事ぶりや配置の状況に関する率直なご意見を聞かせていただきました。多くの学校が、SSSの配置により教職員の業務負担の軽減や学校環境の整備に大きな貢献があると意見をいただくことができました。また、初めて学校に勤務し、職員の一員として学校に貢献することの喜びを生き生きと語るスタッフの姿がとても印象的でした。SSSが働きやすい環境を構成していただいた管理職はじめ職員の皆様には感謝いたします。



【敷地内芝生の管理】



【季節に合わせた掲示物】

いばらきっ子郷土検定(郷ドリ)

今年度で13回目の開催となる「いばらきっ子郷土検定」は、県内の中学校2年生を対象に、楽しみながら茨城県の歴史や文化、偉人や観光、特産物等について学ぶことで、自分の住んでいる地域や郷土への愛着心や郷土愛を育てていくことができる茨城県独自で実施している事業です。今年度も10月に「市町村大会」を各学校で行い、令和8年2月7日(土)に各市町村の代表校による「県大会」をザ・ヒロサワシティで実施します。また、「いばらきっ子郷土検定ドリル(郷ドリ)」は、いつでも・どこでも・誰でもタブレット等を使って、楽しみながら「郷土愛」を高めることができます。是非、積極的な活用をお願いします。



<アクセスは、右記URLかQRコードから>

<https://kyoudori.ibaraki-kentei.jp>



郷土検定ドリル